

展示事業

1 常設展示

テーマ1 ふるさと江別 27点

1. 江別のできごと（歴史年表）
2. 開基、市勢、地勢
3. 江別の四季



テーマ4 町の発展 219点

1. 明治から大正へ
2. 昭和
3. 木製戦闘機キ106
4. 戦後の江別



テーマ2 大昔の江別 818点

1. 土器の移り変わり
（縄文・続縄文・擦文時代）
2. 江別文化の人々
3. 人々のくらし
4. 北海道式古墳の謎
5. 古文書からみた江別



テーマ5 産業の歴史 195点

1. 農業
2. 酪農
3. 窯業
4. 水産業
5. 製紙業



テーマ3 開拓の始まり 136点

1. 対雁
2. 屯田兵
3. 北越殖民社
4. その他の開墾



テーマ6 チョウの世界

日本と南米ブラジル、ペルーなどに棲息する蝶のコレクションを展示



収蔵展示室 昔の道具・古写真などを展示

2 特別展示(ロビー展)

令和元年度

1. 夏季ロビー展

「発掘！高砂遺跡～平成30年度発掘調査成果展～」

○期 間 令和元年7月14日(日)～9月23日(月)

○内 容 JR高砂駅の北側に位置する「高砂遺跡」は、江別市内で最大規模を誇り、昭和39年から23回にわたる発掘調査が実施され、縄文時代早期から擦文時代にかけての複合遺跡であることが判明している。

当展示会では、過去の実態調査で明らかにされてきた高砂遺跡の様子を紹介するとともに、平成30年度の調査で出土した「異形石器」などの土器、石器約80点も併せて公開した。

○入場者 2,423人



令和2年度

1. 夏季ロビー展

新型コロナウイルス感染症の影響で中止

2. 冬季ロビー展

「新収藏品展」

○期 間 令和2年12月19日(土)～令和3年3月21日(日)

○内 容 当館収蔵資料のうち、平成28年から令和2年にかけて寄贈を受けた「開村50年記念絵はがき」や、戦時中の防護団服、旧江別小学校の時計塔に設置されていた時計など、江別のまちの歴史を知る上で重要な資料を公開した。

○入場者 1,256人



2. 冬季ロビー展

「冬の暮らし展」

○期 間 令和元年12月15日(日)～令和2年3月4日(水)

○内 容 冬の寒さが本格化するこの時期に、「昔の人たちはどのように寒さを乗り越え、冬を過ごしてきたのか」をテーマに、かつて使われていた火鉢や薪、石炭ストーブなどの暖房器具や、角巻きや綿入れなどの防寒具、湯たんぼやカイロなどを展示し、人々が冬を暖かく過ごす知恵について紹介した。

○入場者 1,102人

